

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2021年5月18日（火）18:30～19:40

場 所：Zoom ミーティング

出席者：理 事：荒嶋、安藤、五十嵐、小川、尾山、加藤、北川、黒岩、坂口、庄野、関根、平松、
三輪、最川

顧 問：大谷、児玉、

ワザバー：鈴木

(敬称略)

尾山理事の進行により、Zoom ミーティングによる会議開始時点での参加人数（理事の出席11名）が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、会長が議長となり、議事録作成に三輪理事、議事録署名については関根理事を指名した後、緊急事態宣言や蔓延防止措置の昨今、Webによる理事会が約1年3ヶ月を超えることとなった旨の挨拶があり、下記議案を審議した。

<審議事項>

1.みさきヨット無線局定期検査

通信委員長石原理事欠席なるも児玉顧問より点検業者指定等現状の報告。庄野会長よりみさきヨット無線局定期検査実施の可否審議。 外洋湘南 三崎と共同管理の口座から出金。7万円程度と推定される。

承認。

2.相模湾オープン・トランスサガミ等9月までのレース開催

飯島レース委員長欠席なるも庄野会長より提案。以下共同主催につき審議。

- ・相模湾オープン 7月18日予定、SYC主催。現在実施未定。
- ・外洋三崎ショートハンドチャレンジ 6月26日 共同主催
- ・トランスサガミ 8月22日 外洋湘南リビエラ 共同主催

承認

3.ワクチン接種が進んだ際のレース開催基準の検討

トランスパックスレースは実施予定。ワクチンの接種が進んだ国々はオープンになりつつある。日本においては、国・地方自治体の動き、ワクチン接種の進み具合を考慮し、今後判断していくこととしたい。レース参加資格に有望なワクチンの接種証明は、今の所日本では公的証明は発行されない可能性が大きい。今後継続審議とする。

4.その他

AEDについて（荒嶋理事報告）

内外の文献等調査したが、AEDは陸上に設置されていることが多い。

救護義務について、5年前の判例では対応する必要が高まりつつある。
大会参加者への啓蒙、救護補助、ブイ回りレースぐらいが現実的かと思われる。

<報告事項>

1. ケース・ブックのアプリ化（三輪理事）

最新のケース・ブックがアプリとなり、RRSの条文とリンクして極めて便利。

2. 4・5月湘南レース・KFR中止（小川理事）

蔓延防止措置 東京での緊急事態宣言で中止。比較的早い判断が行われた。

3. こぶりっこミーティング実施と今後について（関根理事）

20フィート台のレース。16艇参加。ニューカマーの獲得の狙い。

LINEのオープンチャットを使用。選手とのコミュニケーションでは極めて有用であった。

エントリーフィー支払いでPAYPAYを使用した。検討要の結果。

4. シーボニアレガッタとミドルボート選手権中止（関根理事）

ミドルボート選手権は、コロナの問題、オリンピックを控えたシーボニアでの参加艇の係留問題などから中止を決定した。シーボニアレガッタは、ゴールデンウィーク・レガッタとして実施された。

5. AEDについてお医者様の意見（関根理事）

上記審議事項に加えて、お医者様より、AEDは最初の5分に意味があり、本部船に乗せても効果は限定的との意見があることと、救助においてはAEDの前に心肺蘇生が重要であることが報告された。

高木理事より、AEDは心肺蘇生の際の心臓の微細振動を抑えるなどが主たる用途であり、装備することに加えて、安全性の向上や人命救助の意思を示していくことが重要であるとのコメントがあった。

次回の理事会は9月15日（水）で原則Zoomである旨伝達され、以上で本日の議事をすべて終了し、19時40分閉会した。

以上

2021年 5月 18日

議事録署名人